

## ◇ (財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会 慰霊事業基金 ◇

『慰霊事業基金』へ皆さんの平和を祈る志を！

【設置年月日】

平成 18 年 6 月 7 日（平成 18 年度第 1 回理事会）

全国の住民など一般の篤志家から寄せられる寄附金等を積立て、太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔を護持し、全国の空爆犠牲者を追悼し、もって世界の平和を祈念することを目的とする慰霊事業を実施しています。

【主な慰霊事業】

- ① 慰霊塔の維持管理
- ② 追悼平和祈念式の実施
- ③ 空爆関係資料の収集及び保存 など

【注意事項】

本慰霊協会への寄附は、**税制上の寄附金控除に該当しないおそれがあります**ので、ご注意ください。



【平和のシンボル 太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔】

財団法人 太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会事務局  
(姫路市健康福祉局福祉部福祉総務課総務担当)  
〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地  
Tel 079-221-2303 / Fax 079-221-2374  
E-mail [fukushi.somu@ci.ty.himeji.hyogo.jp](mailto:fukushi.somu@ci.ty.himeji.hyogo.jp)

## ■ 太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔

昭和 27 年 5 月に、戦災復興事業都市として国の指定を受けた 113 の都市が加盟する「全国戦災都市連盟（昭和 22 年発足）」の定期総会において、全国の戦災都市の空爆死没者を慰霊するための塔を建立することが決議され、その設置場所を姫路市とすることが決定されました。

慰霊塔の設計は全国公募され、東京都の高谷隆太郎氏の作品に決定し、手柄山中央公園での建設が進められ、昭和 31 年 10 月 26 日に竣工しました。

また、平成 18 年 6 月から 8 月にかけて慰霊塔のリフレッシュ工事が行われ、竣工時の美しい姿がよみがえりました。

### 〈規模・構造〉

高さ 26.75m

構造 鉄筋コンクリート造で外部は花こう石貼り

前垂 約 280 m<sup>2</sup>で日本地図が刻まれ、加盟都市を象嵌で表示している。

側柱 113 都市の被災記録と復興担当市町長名が刻まれている。

形状 刀を地中に埋めた形で「もう戦争はしない」ということを表現している。

### 〈慰霊協会〉

昭和 27 年 5 月に、全国 113 都市の加盟のもと「太平洋戦全国戦災都市空爆犠牲者慰霊協会」が設立され、事務局を姫路市に置くこととされました。

慰霊協会は、その後、昭和 57 年 8 月に改組され「財団法人 太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会」となり現在に至っています。（平成 18 年 12 月現在、慰霊協会の加盟都市数は市町合併により 107 都市となっています。）

### 〈追悼平和祈念式〉

慰霊協会では、慰霊塔が竣工した 10 月 26 日を式日と定め、毎年、慰霊塔前において全国の空爆犠牲者を追悼するとともに、世界の恒久平和を祈念するため、全国各地のご遺族をはじめ多数の皆様を参列を得て「太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式」を開催しています。

